

認識論

単位数	時間数	配当時期	講師名
1	30	1年次 前期	

事前学習内容

- ・ 隨時指定した内容に取り組む

科目全体のねらい・授業目標

- ・ 物や人を見るときは「見かけじゃないよ、中身だよ」ということを体験を通して身につける
- ・ 何事も予想を立て、選択肢を作り、実験するという流れを生き方に結び付けていくことができる
- ・ 人は立場が変われば途端に主張が変わったりすることを、討論を通して実感することができる
- ・ 自分が善意だと思っていることでも、相手には迷惑なことが少くない、ということを歴史的事実などから知り、実験の大切さを知ることができる
- ・ 「科学的な認識は、目的意識的な実践・実験によってのみ成立する」ことを身につけることができる

教育目標との関連

- ・ さまざまな角度、視点から人や物事を見ることで、多様な価値観を知ることができる
- ・ 実験、経験から理解するし、学び続けることの大切さを知る

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	予想しなければ何も見えないこと、予想の大切さを学習する	講義・討論
2	「見かけじゃないよ、中身だよ」ということを実験を通して学習する	講義・討論
3	人は簡単に納得しないことを実験を通して学習する	講義・討論
4	質量保存の法則を適用した認識の流れを学習する	講義・討論
5	「生物は細胞からできている」ことを学習を通して実感する	講義・討論
6	細胞説を通して「生きている」ということの意味を考え直す	講義・討論
7	江戸時代の農民は何を食べていたか	講義・討論
8	「正義は必ずしも真ならず」ということを歴史的事実から学習する	講義・討論
9. 10	日常的な時間では変化しないものが長い時間で変化することを学習する	講義・討論
11	ドライアイスという物質のおもしろさを実験を通して学習する もしも原子が見えたら;死んだらどうなるか	講義・討論
12	迷信がいかに広がるかということを事実から学習する	講義・討論
13	神社の思いが、納得できる形で理解できる流れを学習する	講義・討論
14	眼の鈍角；虹は本当に七色か？を捉え直し	講義・討論
15	講義内容がどの程度定着したか自分の考えをまとめる	講義・討論

評価方法

筆記試験、出席状況及び受講態度、演習課題にて評価する

テキスト

講師資料

情報リテラシー

単位数	時間数	配当時期		講 師 名
1	30	2年次	前期	

事前学習内容

- コンピュータ・リテラシーとして、Word, Excel, PowerPointの基本操作を習得している。
- インターネットの利用法を身に着けている。

科目全体のねらい・授業目標

コンピューターを自らの仕事に利用する能力を身につけるため、コンピューターやネットワークの仕組みを理解するとともに、Excelを用いた演習を通じてコンピュータ・リテラシーを養う。さらに、医療における情報利用に不可欠な情報セキュリティ、個人情報保護の基礎知識を身につける。

教育目標との関連

- 看護師としての責任を自覚し、対象の立場から倫理に基づき考え・行動できる。
- 科学的根拠に基づき、状況に応じて対象のもてる力をひき出す看護援助ができる。
- 社会情勢に目を受けたうえで、自己の課題を追求し続けることができる。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	情報科学概論： 情報の定義、2進数、情報の表現法の理解	講義
2	コンピュータのしくみ： 論理演算、5大装置、CPUの理解	講義
3	ソフトウェアのしくみ： OSの機能、応用ソフトウェア種類の理解	講義
4	ネットワークのしくみ1： OSI参照モデル、イーサーネットの理解	講義
5	ネットワークのしくみ2： TCP/IP、ドメイン名の理解	講義
6	Excel演習①： 基本操作、式、相対参照と絶対参照	演習
7	Excel演習②： 単純集計	演習
8	Excel演習③： グラフ作成	演習
9	Excel演習④： データの整形・前処理、縦持ち／横持ちデータ	演習
10	Excel演習⑤： クロス集計	演習
11	Excel演習⑥： 仮説検定	演習
12	医療・病院のしくみと医療情報システムの理解	講義
13	情報セキュリティ： 資産・脅威・脆弱性と対策の考え方の理解	講義
14	個人情報保護： 個人情報保護法と医療の関わりの理解	講義
15	上記内容の総まとめ・試験	講義・試験

評価方法

筆記試験、演習課題にて評価する

テキスト

講師資料

参考テキスト

「学生のためのOfficeスキル活用&情報モラル」 noa出版

研究の基礎

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	2年次 後期	

事前学習内容

- ・ テキストを読み、看護研究全体の流れを把握する。
- ・ 看護領域で「なぜ？」と感じることをピックアップしてみる。

科目全体のねらい・授業目標

看護専門分野の学識を用いて課題を探求することができる。

看護研究を遂行するために身につけておくべき研究の基礎能力を身につけることができる。

教育目標との関連

- ・ 看護研究の目的、意義、看護学の発展に果たす役割について説明できる。
- ・ 調べたい事柄に関する文献や情報を探す方法を理解し、研究計画書を立案できる。
- ・ 看護研究における倫理的配慮の基本的な考え方を説明できる。
- ・ 研究方法の種類を理解し、自分の研究に適した研究方法で実行し、まとめ方を理解できる。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	オリエンテーション、看護研究とは	講義形式
2	看護研究の進め方～リサーチクエスチョンから研究課題～	講義形式 グループワーク
3	文献検索の方法～文献の種類、文献の入手、文献整理～	講義形式
4	文献を検索の実際～医中誌WEBを用いた文献検索～	演習
5	研究論文の読み方～文献クリティークの方法～	講義形式
6	文献クリティークの実践～質的研究または量的研究～	講義・演習
7	研究計画書の立案、論文作成の実際	演習
8	テスト	テスト

評価方法

筆記試験、課題発表にて評価する

テキスト

系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院

参考テキスト

文献レビューのきほん 大木秀一 著 医歯薬出版株式会社

地域文化論

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	1年次 前期	

事前学習内容

- 江南市の情報をリサーチし、江南市の魅力を説明できる。

科目全体のねらい・授業目標

日本人のつくり出した生活文化の根元と歴史を理解するとともに、江南市にまつわる歴史を深め地域性を知ることで、今後の看護実践学習に役立てる。

教育目標との関連

- 地域の歴史や文化に触れることにより、歴史事象への興味・関心を高め、自ら調べようとする意識を持つ。
- 将来の看護活動を進める上での人間的素養の広がりと深まりの一助となるよう計画的に進める。
- 看護活動に欠かせないコミュニケーション能力を高める為の話題づくりとなる学習を進める、

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	江南市の特色ある歴史事象を15点に絞って問題形式で紹介し、興味関心を高める。	講義
2	織田信長の室、生駒家「久庵佳昌尼」と3人の子について学び、戦国の世を生きた人々の生涯について考える機会にする。	講義
3	金聲山音楽寺の成り立ちと円空の存在について学び、近隣の寺院についての見識を高め、造仏廻国の僧、円空の生き方について関心を持つ。	講義
4	浄土宗西山派の日輪山曼陀羅寺の歴史と寺院に関わる様々な事象から、往事の寺院の存在について、関心を持つ。	講義
5	金聲山音楽寺、円空仏及び日輪山曼陀羅寺を実施見学して、地域の文化遺産への造詣を深める。	実地研修
6	木曽川と江南市域の関係について、戦国時代から現代に至るまでの大まかな歴史について学び、江南市と木曽川との密接な関係について理解を深める。	講義
7	犬山城の創建と城に関わる様々な歴史事象について学び、その歴史的価値に気づき、理解を深める。	講義
8	犬山城及びその周辺を実施研修をして、尾張北部の拠点となった犬山城とその周辺の文化遺産についての造詣を深める。	実地研修

評価方法

レポート及び毎回の講義後の感想記録で評価する

テキスト

講師資料

参考テキスト

「郷土資料江南」（江南市教育委員会）、「江南市史本文編」（江南市教育委員会）

家族学

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	1年次 前期	

事前学習内容

- ・ 指定した内容にとりくむ

科目全体のねらい・授業目標

1. 家族に関する「あたりまえ」や「常識」を問い合わせる。
2. 家族社会学や教育社会学を中心とした学問分野の知見を学ぶ。
3. 数字を用いた図表データを読み解き、解釈する。

教育目標との関連

1. 人間を身体的・精神的・社会的側面から生活者としてとらえ、多様な価値観を受容できる。
2. 対象と対象を支える人々が、地域でその人らしくくらすための健康支援ができる。
3. 看護師としての責任を自覚し、対象の立場から倫理に基づき考え・行動できる。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	イントロダクション ー社会学とは何か、なぜ家族について学ぶのか	講義
2	家族の歴史① ー家族の機能	講義
3	家族の歴史② ー家族の形の変化	講義
4	結婚の社会学① ーお見合い結婚から恋愛結婚へ	講義
5	結婚の社会学② ー多様なライフスタイル	講義
6	家族と子ども① ー少子化の社会的背景	講義
7	家族と子ども② ー貧困家庭に生きる子ども	講義
8	テスト	

評価方法

平常点、筆記試験にて評価する

テキスト

なし

参考テキスト

岩間暁子ら, 2015, 『問い合わせはじめる家族社会学—多様化する家族の方説に向けて』有斐閣

永田夏来・松木洋人編, 2017, 『入門 家族社会学』新泉社

そのほか、授業中に随時紹介予定

心理学

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	1年次 後期	

事前学習内容

- ・ 他者とコミュニケーションを取るためにどんな工夫をしているか、自分なりの考えをまとめておく。
- ・ 心理学に関しての本を一冊自分で選んで読み、興味・関心を持って授業に臨む。

科目全体のねらい・授業目標

人間が外界からの情報を取り入れると、どう理解し、その後適切な行動を取るに至っているのか、その過程が現象的・機能的であることを知る。人の”こころ”とは何かを問い合わせ、その働きや在り様を学ぶことで、自己への理解を深める。そのうえで他者への共感力や対象を受け入れる姿勢を学び、看護職として、将来に渡って人間理解を深めていける礎となることを目的とする。

教育目標との関連

- ・ 人間を身体的・精神的・社会的側面から総合的にとらえることで、多様な価値観の受容ができる。
- ・ 対象と対象を支える人々が、地域でその人らしくくらすための心理的支援ができる。
- ・ 地域の保健・医療・福祉のシステムにおける看護師の役割を理解し、多職種との連携ができる。
- ・ 社会情勢に关心を持ち、”心”の在り様を模索・追求し、問題解決に努めることができる。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	心理学とは何か、「こころ」と「からだ」との関係について	講義・演習
2	発達心理学・自己と社会（自分に向き合う・他者とのつながりを考える）	講義
3	心理社会的発達理論、医療食と対人援助、患者の心理（“死”的受容）	講義・演習
4	心理臨床（アセスメント・ストレス・心理療法）、話を聞くということ	講義・演習
5	欲求階層説、社会的行動（集団心理と個人）、自己の価値観を知る	講義・演習
6	芸術療法（コラージュ療法）を体験し、非言語的表現の在り方を考える	演習
7	知覚・認知・記憶の心理学（世界をどうとらえているか）	講義
8	筆記試験	評価

評価方法

筆記試験、課題レポートにて評価する

テキスト

心理学（基礎分野 系統看護学講座）医学書院

参考テキスト

心理学（新版）・心理学入門 有斐閣

人間関係論 I

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	1年次 後期	

事前学習内容

- より良い人間関係を築くことができることは、どのようなメリットがあるかを自問し整理しておく
- より良い人間関係を築けない、続けられない失敗事例を整理しておく

科目全体のねらい・授業目標

社会に生きる人々の人間関係を理解し、社会集団で活動するためのコミュニケーション能力を身につける。

教育目標との関連

- 看護師として多様な価値観を受容できるよう人間関係の意味と特徴を考え違いを尊重することを学ぶ
- 自己の役割を果たすことができるよう、自己の意見と考えを思考し自己の特徴を知る
- 集団の中で人間関係を形成できるよう、聞くこと・話すこと・感じることを体験し自己確立を促す

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	人間関係概論 人間関係を学ぶ理由；メリット・デメリット、あらまし 人はなぜ働くのか(働く目的と人間関係を学ぶ)	講義・演習
2	看護業務と人間関係（主に集団と自分） 看護師の働く環境から見た人間関係の特徴 チームの一員として貢献するときの人間関係（集団と自分との関係）	講義・演習
3	看護業務と人間関係（主に動機づけ） 看護師の働く環境から見た人間関係の特徴 看護師として患者支援をするときの人間関係（患者等に対する動機づけ）	講義・演習
4	自己確認から話す対人関係作り 自己を知る：自分の気持ちを感じる、考える、意思決定、話すを学ぶ 主に論理的に自己の意見を決め、その後対人関係の作り方を演習する	講義・演習
5	気づきから聞く、知る対人関係作り 自己確立：相手の気持ちを知る、考える、意思決定、聞くを学ぶ 主に相手の気持ちや感情、思いを推し量り、相手を意欲付ける演習	講義・演習
6	自己を知る、自分を変える 自分のコミュニケーションパターンや癖を知る（自己分析） 自己分析と他者比較、違いを認める PTOに応じたコミュニケーションパターンを変える練習・訓練	講義・演習
7	職場の中の対人関係作り チームに貢献できる対人関係：他人に頼られるために チームに貢献できる対人関係：理解のための訓練演習	講義・演習
8	筆記試験	評価

評価方法

課題評価、筆記試験にて評価する

テキスト

講義で配布する資料及び講義で指定する図書

参考テキスト

看護のためのコミュニケーションと人間関係：中央法規 謙訪茂樹編著

人間関係論 II

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	2年次 後期	

事前学習内容

- ・ 人間関係 I で学んだ自分の意見を考え話す、相手の感情や意見を聴くコツを振り返り再確認すること
- ・ 人間関係 I で体験した集団の中のコミュニケーションの特徴やコツを振り返り、良い行動を整理する

科目全体のねらい・授業目標

人間関係の諸問題や看護業務での問題に対し、その方法論を学習・体験し、コミュニケーション能力を身につける。

教育目標との関連

- ・ 看護師としての責任を自覚するためにできる看護師の特徴を学び、自分がいま何をすべきか決め話す
- ・ 地域の保健・医療・福祉システムにおける看護師の役割を理解し多職種と連携するため関わり方を学ぶ
- ・ 厚生連の一員としてセルフマネジメントできるよう葛藤や対立を解消する理論と演習をする

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	意思決定の仕組みを知り、看護師の役割／責任を学ぶ 人間関係論 I の振り返り：気持ちよく話す／聴く。 個人意思決定と組織意思決定の違いについて理論を学んだ上で、看護師の役割と患者等との関わりかたについてグループ演習や意見交換。	講義・演習
2	できる看護師の持つ実践能力（コンピテンシー）を知る 集団意思決定を踏まえ、多様な看護職場を想定し、意思決定と求められる看護実践能力を比較して学ぶ（優秀な看護師がしている行動と考え方を知る）。問題解決能力の意味と定義を学び、演習で理解する。	講義・演習
3	より良い看護実践能力を身につける：ニーズを捉える力 相手のことをよく見る、感じる、ニーズを捉えるポイントを学び、演習で理解する。	講義・演習
4	より良い看護実践能力を身につける：協働する力 関係者と協働して問題を解決するポイントを学び、演習で理解する。	講義・演習
5	より良い看護実践能力を身につける：意思決定を支える力 患者の意思決定を支えるポイントを学び、演習で理解する。	講義・演習
6	より良い看護実践能力を身につける：相手を説得する力 気持ちよく相手を説得する、論理的な話法をを学び、演習で理解する。	講義・演習
7	正しく不安やストレスに対応する、支えるために 患者やその家族が持つ葛藤や不安があるとき、自分に自信がなくなったときの考え方、修正の仕方、やってはいけないことを学び、演習で理解する。	講義・演習
8	筆記試験	評価

評価方法

課課題評価、筆記試験にて評価する

テキスト

講義で配布する資料及び講義で指定する図書

参考テキスト

看護のためのコミュニケーションと人間関係：中央法規 諏訪茂樹編著

組織論

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	30	2年次 前期	

事前学習内容

- ・ 病院組織の観察
- ・ 病院組織の一員化を想定したイメージ・トレーニング

科目全体のねらい・授業目標

社会の成り立ちと生活者としての人間の関連を学ぶ一環として、職場組織に発生する様々なトラブルの認識方法を習得する。

教育目標との関連

- ・ 人間を身体的・精神的・社会的側面から生活者としてとらえ、多様な価値観を受容できる。
- ・ 看護師としての責任を自覚し、対象の立場から倫理に基づき考え・行動できる。
- ・ 集団の中で人間関係を形成しつつ、自己の役割を果たすことができる。
- ・ 厚生連の一員としてセルフマネジメントできる。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	組織論の意義	講義+討論
2	職場組織の病理	講義+討論
3	職場組織の病気へのアプローチ	講義+討論
4	強い組織の意義	講義+討論
5	組織力の比較	講義+討論
6	非公式組織の意義	講義+討論
7	非公式組織の負の影響力	講義+討論
8	非公式組織論の応用	講義+討論
9	会議の問題点	講義+討論
10	会議の問題点	講義+討論
11	組織内情報の意義	講義+討論
12	強い組織の原理	講義+討論
13	フリーライダーの意義	講義+討論
14	日本の経営の意義	講義+討論
15	職務権限の意義(総括)	講義+討論

評価方法

筆記試験、平常点にて評価する

テキスト

辻村宏和(1994)『組織のトラブル発生図式』成文堂

倫理学

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	15	2年次 後期	

事前学習内容

- あらかじめ配布されるレジュメに目を通し、内容把握に努めてから、講義に望むこと
- ・

科目全体のねらい・授業目標

科学万能ともいわれ科学による技術の発展を見た時代と異なり、現代は、急速な技術の進歩とともに、それを取り巻く倫理的諸問題に目を向けることが大切と考える。

教育目標との関連

- 様々なテーマに関する考察を通して、多様な価値観を受容できるようにする。
- 看護師としての自覚ある考察が出来るよう努めるようにする。

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	生と死について：生と死の有様、死生観など	講義・演習
2	脳死臓器移植問題：脳死臓器移植の歴史・概要と諸問題	講義・演習
3	生命倫理・看護倫理：生命倫理原則、看護倫理、自己決定権など	講義・演習
4	安楽死・尊厳死：安楽死・尊厳死の概要と諸問題、死の受容など	講義・演習
5	生をめぐる諸問題：生殖補助医療など	講義・演習
6	生をめぐる諸問題：出生前診断と選択的人工妊娠中絶など	講義・演習
7	その他の問題：医療資源の配分、遺伝子診断など	講義・演習
8	全体のまとめ	講義

評価方法

筆記試験

テキスト

無し

参考テキスト

講義内で周知

文 学

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	30	1年次 通期	

事前学習内容

- ・ 小文提出 (A4用紙1枚)
- ・ 入学時に身に付けている文章技術、表現力を確認し、その力を伸長させる指導を、策定するため。

科目全体のねらい・授業目標

文学作品に現れる多様な人物造形やその心理の変容を掴み、思索論及する実践において、表現力や想像力、理論構築力を磨く。感受性を深めることで、患者の感情や思考や意思に寄り添う理解力を持ち、看護師として、的確な意図を書き示すことができる力を養成する。

教育目標との関連

- ・ 文学には、歴史や社会環境の中で、人間がどのように考え、行動したかが描出されている。それを学び理解することで、身の回りの社会に対する想像力が広がり、自分を他者のためにどう生かすかという思考が涵養される。(教育目標1. 2. 3)
- ・ 事象を正確に理解する力は、自身の視野がいかに客観性を保持するかというところで、進化する。(教育目標4. 5. 6)

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	テキスト購読：テーマの意味、文章力の現在地を知る	講義 演習
2	テキスト内の事項をしらべ、客観的に内容を把握する	講義 演習
3	本文読み解語句の吟味	講義 演習
4	読み解きと内容理解：的確な表現理解から人物の死生観を見る	講義 演習
5	読み解き：登場人物像に投影された人間心理を考える	講義 演習
6	読み解き：登場人物の感情をまとめ、人間心理とそのあらわれ方を学ぶ	講義 演習
7	読み解き：悲しみの表現理解	講義 演習
8	読み解き：人間の諸相を理解し、表現の工夫をする	講義 演習
9	視聴覚教材から人物の心象を把握する	参考映像視聴
10	視聴覚教材から人物の心象を把握する	参考映像視聴
11	客観的視点：正しい文章の書き方を確認する	講義 演習
12	文章表現：論文作成に関する知識を踏まえ書く際に備える	講義 演習
13	叙述・推論：叙述推論の方法を確認し、論述の技術を高める	講義 演習
14	基本知識の確認。テスト	テスト形式
15	課題研究の成果としての小論文作成	論述テスト

評価方法

各時の演習の取り組みとテストにて評価する

テキスト

展開に応じて、作品と読み解用プリントを供与する

参考テキスト

特になし

英語 I

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	30	1年次 後期	

Pre-Learning Content

- In adherence to the changing needs of health care for all, this course is geared to a more responsive health care workers, and minimize language barrier. (すべての人のヘルスケアの変化するニーズに準拠して、より応答性の高いヘルスケアワーカーを対象としており、言語の壁を最小限に抑えます)

Class Goals, Aims and Objectives

- To give the students some basic knowledge, skills and speaking techniques using health and medical related English vocabulary and phrases. (健康と医療に関する英語の語彙とフレーズを使用して、いくつかの基本的な知識・スキルおよびスピーキングテクニックを提供します)

Relevance to Educational Goals

- The human beings ‘ physical, mental and social health support from a socially diverse values and perspectives in the society. (社会の多様な価値観や視点から、心身の健康をサポートします)
- The target society and the health service workers, share and accept diverse values in order to live a healthy life in the area. (多様化価値観を共有し受け入れ、地域の人々の健康的な生活を支援します)

Class Plan

No.	学習内容と成果 (Learning Content and Achievements)	授業方法
1	Orientation, Greetings and Introduction.	講義・演習
2	Small Talks and Introduction,	講義・演習
3	Taking Patients Vital Signs	講義・演習
4	Night Shift versus Day Shift. Small Talks, Answering Phone Calls.	講義・演習
5	Procedures for Admission and Discharge	講義・演習
6	Medical Examination, performance planing.	講義・演習
7	Knowing Signs and Symptoms	講義・演習
8	Assisting Surgical Procedures	講義・演習
9	Top 10 Causes of Death in Japan, Japan's Health Threat	講義・演習
10	Rehabilitation	講義・演習
11	Helping Adult Patients Eat	講義・演習
12	Newborn Changing Diapers	講義・演習
13	Giving a bed bath	講義・演習
14	How to use a wheelchair	講義・演習
15	Written Final Test	テスト

評価方法

Class participation, attendance and preparation; Class performance and skit presentation;
Final written test

テキスト

Situational English for Japanese Nursing Students

英語II

単位数	時間数	配当時期		講 師 名
1	15	2年次	前期	

事前学習内容

- ・ 英語Iで学習したスキットを復習しておく
- ・ 看護師が入院患者に行っていること(入院時の対応、検温など)想定できる場面を考えておく

科目全体のねらい・授業目標

- ・ To give basic knowledge, skills abd speaking techniques using health and medical related English.

教育目標との関連

1. 人間を身体的・精神的・社会的側面から生活者としてとらえ、多様な価値観を受容できる
2. 対象と対象を支える人々が、地域でその人らしく暮らすための健康支援ができる

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	Introduction Orientation / Useful Classroom Phrases Vital Signs	講義・演習
2	Admission and Orientation to the Hospital Routine	講義・演習
3	Data Collection from Patients	講義・演習
4	Daily Activities	講義・演習
5	Procedures	講義・演習
6	Positioning the Patient in Bed	講義・演習
7	Bath and Comfort	講義・演習
8	written test	

評価方法

class participation, attendance and preparation,
class performance and skit presentation final written test

テキスト

臨床看護英語第6版 医学書院

健康とスポーツ

単位数	時間数	配当時期	講 師 名
1	30	1年次 前期	

事前学習内容

- ・ 日常の体力づくり

科目全体のねらい・授業目標

- ・ それぞれのスポーツ種目に応じた正しい技術やルールを修得する
- ・ 「みる」スポーツから「する」スポーツを知る
- ・ 自己の運動習慣から健康管理を実践する

教育目標との関連

- ・ 規則、ルールを守ることで、社会人として基本的な態度を身に着けることができる
- ・ スポーツを通して、他者を思いやり、尊重する態度を身に着ける
- ・ 自己の健康習慣、健康管理を見直し、セルフケアにつなげる

授業計画

No.	学習内容と成果	授業方法
1	ガイダンス：健康とはなにか 運動とはなにか	講義
2	新体力測定	実技
3・6	バレーボール：基本練習とルールの理解、チーム展開	実技
7・8	バスケットボール：基本練習とルールの理解、チーム展開	実技
9・11	バドミントン・ニュースポーツ：基本練習とルールの理解、ゲーム展開	実技
12	筆記試験	実技
13・15	学外演習：登山体験と健康観	実技

評価方法

授業への積極性（出席率、取り組み、意欲）を重視する

その他、実技・講義にて評価する

テキスト

なし